

教科	公民科	単位数	2単位	学科		学年/学級	
----	-----	-----	-----	----	--	-------	--

●学習の目標と評価規準

科目の学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせる。 ・現代における政治、経済、国際関係について客観的に理解させる。 ・現代における政治、経済、国際関係に関する諸課題について、主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
使用教科書／教材	政経314 高等学校 現代政治・経済 新訂版

科目の評価の観点			
【関心・意欲・態度】	【思考・判断・表現】	【資料活用・技能】	【知識・理解】
現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。

●学習の計画と評価の方法

月	編	時間	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
4月		7	第1章 民主政治の基本原則		
			1 政治とはなにか 2 法とはなにか 3 近代民主政治の発展 4 現代民主政治の展開 5 政治制度と現代の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・法は社会規範の一つであり、国家による強制を伴う点で道徳や慣習とは異なることを理解する。 ・法は個人や集団の権利を擁護すると共に社会の秩序を維持する機能を有していることを理解する。 ・世界の政治体制と比較することで民主政治の本質を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関意】【思判表】 ・【技】ワークシート ・【知理】レポート
			第2章 日本国憲法と国民主権		
			1 日本国憲法制定までの道のり 2 日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法は基本的人権の尊重、国民主権を基本原則とする点で国民国家の枠を超えた普遍性を持っていることを理解する。 ・日本国憲法は民主政治の諸原理と深い関係があることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関意】【思判表】 ・【技】ワークシート ・【知理】レポート
5月		8	第3章 日本国憲法と平和主義		
			1 平和主義思想の系譜 2 日本の防衛政策と自衛隊 3 日本の安全保障政策と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・平和と安全の確保が、人類の福祉を実現する上で欠くことのできないものであることに気付く。 ・日本国憲法の平和主義を理解した上で、日本の安全保障と防衛について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関意】【技】原典資料考察 ・【知理】【思判表】定期テスト

6月	第1編	現代の政治	第4章 日本国憲法と人権保障		
			1 人権保障の基本原則 2 自由権的基本権 3 法の下での平等	・日本国憲法が保障している基本的人権の確立の歴史的背景、経緯、政治制度との関連について考察する。 ・個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解する。 ・自由権的基本権について、議会制や権力分立制との関連を理解する。 ・平等権について、社会における不合理な差別を完全になくすことに主体的に取り組むような積極的な態度を身につけさせる。 ・参政権について、国民の政治参加のための制度との関連を理解する。 ・社会権的基本権について、近代から現代にかけての政府の機能の変化の過程で登場してきたものであることを理解する。 ・教育、労働、福祉に関わる社会制度の整備と社会権的基本権の関連を理解する。 ・社会の変化に応じて求められる新しい人権について理解する。	・【関意】【技】原典資料考察 ・【知理】【思判表】定期テスト
			4 社会権的基本権 5 参政権と請求権 6 新しい人権 7 人権をめぐる新たなうごき		
			第5章 日本の政治機構		
			1 国会のしくみと機能 2 内閣のしくみと機能 3 裁判所のしくみと機能	・政治機構については、中学校社会科公民的分野の学習の基礎の上に立って概観する。 ・国民主権、議会制民主主義、権力分立、議院内閣制、違憲審査制の概念や政治理論を習得する。 ・日本国憲法下にある政治制度や政治機構がどのような理由で設けられたのかを考える。 ・政治制度や政治機構の背景にある民主主義の考え方について考察する。 ・議会制民主主義が権力分立制のもと、国民代表制と多数決の原理に基づく議会を通じて運営されていることを理解する。 ・国民の権利を守り社会の秩序を維持するために法に基づく公正な裁判の保障があることを理解する。 ・公正な裁判のためには司法権の独立が必要であることを理解する。 ・地方自治は住民自らの意思と責任の下で行われるもので、民主政治の基盤をなすものであることを理解する。 ・地方自治の政治制度では、直接民主制の考え方が国政よりも多く取り入れられており、首長と議会の議員が独立に選出され、相互に抑制と均衡の関係を保っていることを理解する。	・【知理】定期テスト ・【関意】【思判表】レポート
			4 地方自治		
			第6章 現代の日本政治		
			1 行政機能の拡大 2 政党政治	・行政府の役割が増大化したことやマスメディアが国民世論の形成に果たす役割が大きくなってきたこと、特定の政治的思考を持たない人が増加したり、政治的無関心の広がりが見られたりすることになったことに気付く。 ・国民の政治参加が政策決定及ぼす影響や主権者としての政治参加の在り方について考察する。 ・民主主義は多数者の意思に基づく政治を基本とするが、少数者の権利や意見の尊重が必要であることを気付く。	・【知理】定期テスト ・【関意】【思判表】ワークシート、テレビ番組など 【技】新聞記事等からの読み取り
			3 選挙制度 4 現代民主政治の課題		
7月					

9月	9	第7章 国際政治と日本		
		1 国際社会の形成と国際法 2 国際連合と国際協力 3 国際政治の動向 4 核兵器と軍備管理・軍備縮小 5 国際社会における日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェストファリア・システムを理解する。 ・国際法の基本的なしくみについて理解する。 ・国際法に関しては統一的な立法機関はなく、国際司法裁判所にも強制力が十分には機能しないことを理解する。 ・国際連合をはじめとした国際機構の意義や役割を理解する。あわせて、NGOや多国籍企業が国際政治に影響を与えていることも理解する。 ・国際政治の動向として、冷戦後の動向について理解する。 ・日本の安全保障と防衛について理解を深める。 ・国家間の対立を解消するためには調整し協調することが必要であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【知理】レポート ・【関意】【思判表】ワークシート、テレビ番組など ・【技】新聞記事等からの読み取り
10月	8	第1章 現代の経済のしくみと特質		
		1 経済活動の基本概念 2 経済活動の主体 3 市場経済の機能と限界 4 企業の役割 5 経済活動の計測とGDP 6 経済成長と景気変動 7 物価のうごき 8 市場経済にいたる経済体制の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・分業と交換に基づき、生産や消費について、どのような社会でも経済的選択の問題を解決しなければならないことを理解する。 ・経済問題の解決の方法の違いによって市場経済や計画経済があることを理解する。 ・家計、企業、政府が現代の経済における主要な経済主体であり、これら経済主体間の相互関係が国民経済を構成していることを理解する。 ・企業は、提供された生産要素を結合して生産活動を行うことを理解する。 ・市場の競争性が維持されている場合でも公共財の提供がされにくいことや環境破壊など市場の失敗があることを理解する。 ・インフレは国民の所得や富の格差を拡大すること、デフレは景気後退や不況と結びついて国民生活に影響を与えることを理解する。 ・経済成長と景気変動を図る様々な指標の特色を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【知理】定期テスト ・【関意】【思判表】ワークシート、テレビ番組など ・【技】新聞記事等からの読み取り
11月	8	第2章 金融と財政のしくみ		
		1 金融のしくみとはたらき 2 財政のしくみとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・金融とは経済主体間の資金の融通であることを理解する。 ・資金の需給は金融市場における金利の変化や株式市場と債券市場の動向によって調節されることを理解する。 ・金融市場における金利の動向が消費や貯蓄、投資行動に影響したり物価や株価、景気の変動に大きな役割を果たしていることを理解する。 ・金融業務の自由化や金利の自由化に伴う金融に関する経済環境の変化による国民経済や家計や企業に向けての影響について理解する。 ・現代経済における有効需要政策の意味と役割及びその問題点について理解する。 ・財政政策は、投入された費用に対してそれから得られた効果を比較しながら最適な政策を選択していく必要があることを理解させる。 ・財政は国だけでなく地方公共団体も行っていることに気付き、両者の役割分担や連携の在り方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関意】【思判表】 ・【技】ワークシート ・【知理】レポート

第2編 現代の経済	12月	第3章 日本経済のあゆみと現状		
		1 戦後復興と高度成長 2 石油危機とバブル経済 3 バブル崩壊と失われた20年	<ul style="list-style-type: none"> ・復興期と高度経済成長期の日本経済の特徴について理解する。 ・石油危機とバブル経済期の日本経済の特徴について理解する。 ・バブル崩壊と失われた20年の日本経済の特徴について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関意】【思判表】 ・【技】ワークシート ・【知理】レポート
		第4章 福祉の向上と日本経済の課題		
		1 労働基本権と労働運動 2 今日の雇用問題と労働条件	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の労使関係の特色や、勤労の権利と義務、労働基本権の保障、労働条件の改善、労働組合の役割について理解する。 ・医療や年金といった社会保障費の財政負担が大きな問題となっていることを日本の社会保障制度の歩みや特色も含めながら理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関意】【思判表】新聞などを使ったワークシート ・【技】憲法条文テスト ・【知理】定期テスト
		3 社会保障の成立と進展 4 中小企業の現状と問題 5 環境をめぐる問題 6 消費者をめぐる問題 7 農業をめぐる問題	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業にはベンチャー企業のように経済的に大きな役割を果たしているものがある一方で、下請けとして大企業との間には正すべき格差社会が存在しているということを理解する。 ・市場経済においては市場の失敗として環境破壊があることを外部不経済の視点から理解する。 ・消費者についての問題としては、情報の非対称性の観点から家計・企業・政府間の情報格差について理解する。 ・農業問題としては、日本の食料自給率が他の先進国とくらべて低く、日本の農業の体質強化が課題とされていることを理解する。 	
1月	5	第5章 世界経済と日本		
		1 国際分業と貿易の利益	<ul style="list-style-type: none"> ・比較優位の考え方について理解させ、自由貿易論と保護貿易論とを対比させながら、現代の貿易問題と関連させて理解する。 ・対外経済取引に伴い通貨間の売買が必要になることを理解する。その際、自国通貨と外国通貨の需給関係から為替レートが決まる変動相場制が採用されており、財やサービス、資本の出入りや物価水準、金利差など様々な要因が相場に影響を与えていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【知理】小テスト ・【関意】【思判表】 ・【技】ワークシート、作文
		2 外国為替と国際収支のしくみ 3 グローバル化の進展と国際経済 4 アジア経済と南北問題 5 環境と人口 地球の持続可能性をめぐる問題 6 国際経済における日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国際収支統計の基本的な構成と、日本の対外経済取引の現状について理解する。 ・世界貿易機関や国際通貨基金などの国際経済機関が果たす役割や課題について理解する。 ・持続可能な社会を形成するための政策について理解する。 ・新興工業国経済について特徴課題について理解する。 ・国際経済の安定のために日本が果たすべき役割にはどのようなものがあるのかを考察する。 	

第1章 現代日本の政治や経済の諸課題		
1 18歳選挙権から考える政治とはなにか？ 2 社会保障制度は維持可能か？ 3 地域共同体は変貌する地域社会に対応できるか？ 4 働くとはどういうことなのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙の意義と投票する意味を理解する。 ・終身雇用制や年功序列型賃金体系、労使協調などにより雇用の安定を確保するという考え方と、規制緩和による就業形態の多様化、成果主義に基づく賃金体系、労使の新しい関係などにより労働力を効率的に活用するという考え方とを対照させて今後の日本の雇用や労働政策の在り方について探求する。 ・今日では地方分権改革が推進されると共に様々な議論があることや、地域の政治や経済の動きが住民の生活だけにとどまらず国際的な政治や経済に深く関わっていることを理解する。 ・地域社会の発展と住民生活の向上について、国と地方公共団体の関係の在り方について探究する。 ・派遣労働者やパートタイマーといった非正規労働者、女性や若年者、高齢者、障害者の雇用や労働問題、失業問題、外国人労働者問題といった事例を探究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関意】【思判表】 ・【技】ワークシート ・【知理】レポート
5 日本は格差のある社会なのか？ 6 グローバル化する中小企業は世界で勝てるか？ 7 日本の農業に未来はあるか？	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の大企業と中小企業の関係や中小企業の役割などについて調べ、大企業との格差を是正し中小企業の自立を支援する政策について探求する。 ・経済のグローバル化や国際競争の激化といった状況が見られる中、中小企業の在り方について経済の安定化のために政府による保護育成の立場と、規制緩和をさらにすすめる自由化の立場を対照させて探求する。 ・農業における生産、流通、貿易を自由化する考え方と、農業を保護するための政策を推進する考え方を対照させ、食料生産の効率化と食料の安定供給や安全性確保といった視点で探求する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関意】【思判表】 ・【技】ワークシート ・【知理】レポート
第2章 国際社会の政治や経済の諸課題		
8 リスクのある社会とは？ 9 パリ協定で世界の温暖化対策はすすむのか？ 10 「援助」は途上国のためになっているか？ 11 人種・民族問題に解決はあるか？ 12 国際社会における今の日本の役割とは？	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の国際社会の課題は、従来の政治や経済の枠組みを超えたものが多く、しかも複雑化していることを理解した上で、リスクある社会について探究する。 ・地球環境の保全を優先する考え方と、生活水準の向上を目指す経済発展を優先する考え方を対照させて、持続可能な開発という視点から探究する。 ・国際経済格差の是正について、先進国や国際機関による経済援助を中心とする考え方と発展途上国の自助努力を中心とする考え方を対照させて、発展途上国の経済的な自立と持続可能な発展と先進国の協力のあり方について探求する。 ・少数民族の分離・独立という考え方と、多数民族との共生という考え方を対照させて、人種・民族間の対立と共存という視点から探求する。 ・国益の追求と、人類共通の利益の追求とを対照させて、日本が世界の国々にどのような役割を果たすことができるのかを探求する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関意】【思判表】 ・【技】ワークシート ・【知理】レポート